

しものせき Port News

平成28年9月
Vol.2

国土交通省九州地方整備局下関港湾事務所広報誌 しものせきポートニュース

Contents

特集 高潮に備える

覚えていますか？平成11年18号台風 / 高潮時の心構え
下関港海岸の高潮対策 / 下関の新名所 壇ノ浦コースト

下関港紹介② 長府地区
みなと歴史探訪② 烏帽子岩



台風接近時の国道9号線の越波状況

1 特集 高潮に備える

過去、下関では台風に伴う多くの高潮災害が発生しています。

今回は、その高潮に関する基礎的な知識と、それに対応する下関港海岸の整備にスポットをあて、高潮に関する情報をお届けします。

覚えていませんか？平成11年18号台風

平成11年9月、宮古島の南東海上で発生した台風18号は、強い勢力を保ったまま熊本県北部へ上陸、九州北部を横断し、周防灘へ抜けた後、山口県を直撃しました。

下関市内では瞬間最大風速41.9メートルを観測し、停電被害は4万世帯を超えました。また、台風通過時が満潮と重なったことから高潮が発生するとともに、関門海峡沿いの国道9号線は通行止めとなるなど、市民生活に甚大な被害をもたらしました。

さらに、高潮の発生により市内海岸沿いを中心に、家屋だけでなく発電所や工場など208棟が浸水を受け、企業や工場は休業や操業停止となり、下関の地域経済にも大きな打撃を与えました。

近年、温暖化の影響で海水の温度は上昇を続けており、台風の強大化が予測されています。そのため、今まで以上に高潮も増えると心配されています。

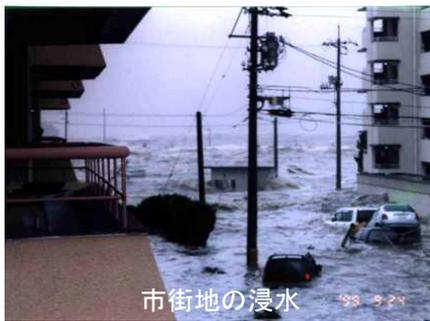


◆近年、下関に高潮被害を及ぼした台風

平成	台風	気圧 hpa	風速 m/s	最高潮位
11年	台風18号	963	19.0	606cm※
16年	台風16号	970	19.9	458cm
16年	台風18号	952	21.1	455cm
17年	台風14号	973	16.3	460cm
18年	台風13号	973	16.6	471cm

※推算値

〈下関港湾事務所調べ〉



高潮時の心構え

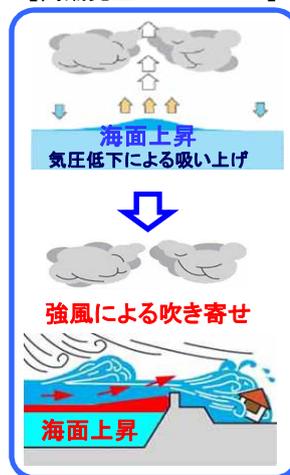
なぜ、高潮が発生するのでしょうか？
高潮は、台風や発達した低気圧の通過によって海水を吸い上げるような作用や、強風によって海水が海岸へ吹き寄せられることにより、海面が上昇することで発生します。特に台風来襲時は発生しやすく、海岸沿いの地域では高潮災害に対する心構えが必要です。

高潮に対する心構えとして、日頃からハザードマップなどをもとに、避難場所や避難経路について家族全員で確認しておく必要があります。もしもの場合の集合場所や緊急連絡先の確認、非常食や非常時持ち出し品も準備しておく必要があります。

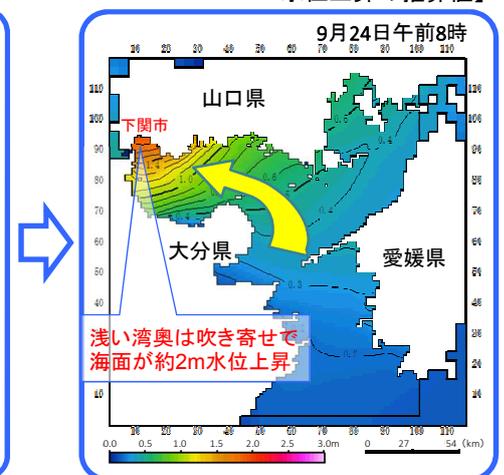
「高潮ハザードマップ」は、満潮時に重なった際の高潮被害を想定しており、下関市のホームページでも確認出来るようになっています。

高潮災害を未然に防ぐためには、情報を収集して、早めの対応や避難を心がけましょう。

【高潮発生メカニズム】



【平成11年18号台風来襲時の水位上昇の推算値】



下関港海岸の高潮対策

下関港海岸は周防灘に面しており、その地形の特性から高潮が発生しやすく、これまでも度々、周辺地域に大きな被害をもたらしてきました。



この地域では、国の高潮対策事業として、平成20年度より「下関港海岸保全施設整備事業」を進めています。下関港海岸近辺は住宅地と産業地帯が集積されており、下関の産業経済活動の動脈となっているため、少しでも早い高潮対策が望まれています。

このうち長府・壇ノ浦地区は、関門海峡を望む風光明媚な場所であり、観光拠点も多く存在するため景観に配慮し、高波から守る護岸の整備を進めています。

山陽地区は、民家や商業施設、大規模な事業所が立地する重要な地域であることから、高潮による浸水を防ぐため、護岸の高さを上げるなどの対策を進めています。

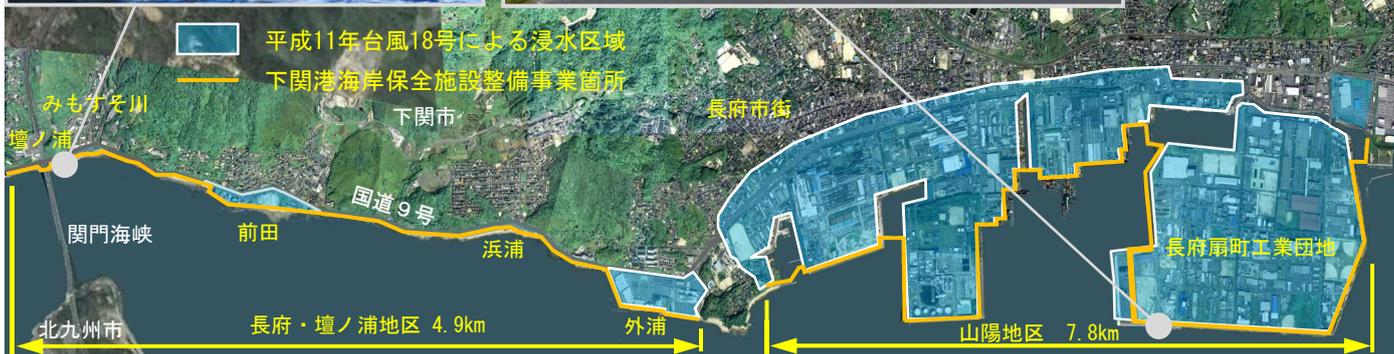
また、水門の設置などにより浸水を防ぐ計画になっています。



壇ノ浦地区の整備後の護岸



山陽地区(扇町)の護岸整備の状況



下関の新名所 壇ノ浦コースト

壇ノ浦・みもすそ川地区は、関門橋のたもとから関門海峡を望む場所で、古くは源平壇ノ浦合戦の古戦場であるとともに、幕末には海峡を行き交う外国船を砲撃した場所でもあります。

この地区では高潮対策の整備を進め、観光客が施設を利用しやすく、環境や景観に配慮した護岸が平成27年12月に完成しました。

現在、壇ノ浦・みもすそ川地区は一時開放され、多くの市民や観光客に利用されています。

また、この一帯は一般公募によって「歴史上有名で、広く知られている海岸(英語coast=海岸)」ということで、「壇ノ浦コースト」と愛称が付けられ、下関市の新たな名所として、市民や観光客から憩いの場として親しまれています。



利用と景観に配慮した護岸



「壇ノ浦コースト」銘板



一時開放後の護岸の様子

下関港紹介② 長府地区

下関における産業・工業は、市の東部に位置する長府地区に集まっています。主に金属加工工場、タイヤ工場などが立地しており、製品や材料の輸出入のために港が活用されています。

この地区の工業団地をさらに活かすため、昭和60年から平成19年にかけて、長府扇町に長府埠頭が整備されました。

主にゴム製品の大型タイヤ等がアメリカやオーストラリアなどの海外へ、また鋼材等が国内の各地から貨物船で運ばれております。そのため、下関市の産業港湾として臨海工業地帯の活動を支えています。

また、高潮対策のための整備も進め、安心して産業活動が行えるようにしていきます。



多数の企業が立地する長府扇町工業団地



荷役の様子



岸壁係船中の貨物船

みなと歴史探訪② 烏帽子岩

烏帽子岩（えぼしいわ）は、関門橋の橋脚のたもとにある立石稲荷神社のご神体です。この岩の上では、毎年12月10日に、赤間神宮の宮司らにより、しめなわをかける「しめなわ祭り」が行われており、関門の冬の風物詩となっています。

その昔、海に倒れた大石を放置していたところ、災害や疫病が続いていましたが、キツネのお告げによりこの大石を立て直したところ災害がなくなったとの言い伝えがあり、地域の住民たちによって奉られてきました。

烏帽子岩は、平成25年の壇ノ浦地区の下関港海岸改良工事に伴い、整備範囲内であったため、当初の場所から東側へ約20メートル離れたところに移されましたが、今も昔も、豊漁と海上交通の安全を見守っています。



烏帽子岩



しめなわ祭りの様子



烏帽子岩移設図



国土交通省 九州地方整備局 下関港湾事務所

〒750-0066 山口県下関市東大和町2丁目29-1
TEL (083) 266-3291 FAX (083) 261-1123
HPアドレス <http://www.pa.qsr.mlit.go.jp/shimonoseki/>

「海と港の総合窓口」
全国共通フリーダイヤル **0120-497-370**
受付時間: 9:30~12:00 & 13:00~17:00 (土・日・祝を除く)

ご意見・ご感想をお聞かせください。

